# 心の通う対話の市政 進行中

# Voice「ヴォイス」

みよし市では、皆さまからの市政に対する意見を久野知英（くのともひで）市長が直接お聴きする「市長とのふれあい座談会」を開催したり、提言箱などから「皆さまの提言」をいただいたりすることで「心の通う対話とガラス張りの市政」を進めていこうと努めています。

また、市長が率直な思いを綴るコラムやコミュニティーFM（エフエム）に生出演する「市長ホットライン」を放送するなど、市長を身近に感じていただき、市政に関心を持っていただく取り組みをしています。

**●市長ホットライン放送予定**

▼とき＝6月3日(月)午前8時(生放送)、午後6時(再放送)

▼放送局＝エフエムとよた ラジオ・ラブィート(78.6MHz)

## 連載第114回

### 梅雨の季節の到来に想う

毎年、西一色町内境川の左岸堤防を利用して、尾三消防組合と合同で取り組んでいる水防訓練。今年も消防団、市議会、区長会、災害防止協定締結団体など、多くの皆さんの参加を得て、災害時を想定した訓練を実施しました。

当日は、月の輪工法や積み土のう工法、ロープ結索訓練、そして女性消防団員による、三角巾を使った救護訓練などを、尾三消防署員の指導のもとで行いました。水防法により、水防管理団体に指定されている他市町村でも、年に一度は必ず行われています。

みよし市では2年前、全国でもあまり例を見ない東海学園大学の学生による、機能別分団が誕生。以来、毎回この訓練に参加してくれています。市外から加入している団員が多く、中には岐阜県から駆け付けてくれた人もあり、その心意気には感謝です。

忘れもしない13年前の平成12年9月、この地域を襲った東海豪雨は、その名が表すとおり東海地方全域に大きな被害をもたらし、市内でも床上、床下浸水など50戸近くに被害が出ました。境川の決壊は免れたものの、堤防を越水寸前の状態が長時間続き、下流の豊明市などでは支流が逆流決壊し、被害が数千戸に及んだことを記憶しています。

一方で昨年の8月11日と18日、東海豪雨とは全く違う、それまで経験したことのない雨の降り方で、きたよし地区の狭い範囲を中心に、およそ1時間から2時間集中して豪雨が襲いました。下流域の西一色町や福田町の境川沿いでは、降雨量が少なかったにもかかわらず、30戸近くに床下浸水被害が出てしまいました。上流部でバケツをひっくり返したような雨、いわゆる「ゲリラ豪雨」による大量の雨水が一挙に流れ込んだことで霞堤（かすみてい）から逆流し、短時間で住宅を襲ったのです。境川上流でのゲリラ豪雨はあまり想定していませんでしたが、どんなときでも想定外はあり得ることを思い知らされました。

梅雨の季節になりました。過去を教訓にして万全の態勢を取りますが、どんな川でも処理できる流量は無限ではありません。それを理解していただくことも危機管理の一つです。皆さんも各自の心構えや備えをお忘れなく。

みよし市長 久野知英

## 皆さまからの提言をお待ちしています

みよし市では、市政に対する皆さまからの提言をいただくため「皆さまの提言箱」を設けています。その他、下記①から③のいずれかの方法でも受け付けています。

▶提言箱設置場所＝市役所、サンネット、サンアート、市民病院、総合体育館、中央図書館

①電子メール…✉teigen@city.aichi-miyoshi.lg.jp

②ファクス…FAX(76)5021

③郵便…〒470-0295 みよし市役所広報課あて(住所不要)

携帯電話からメールで提言できます

※皆さんからいただいた提言は、市全体に対する提言として捉え、個々への回答はしませんが、今後の市政運営の参考にさせていただきます。

みよし市ホームページ(URL http://www.city.aichi-miyoshi.lg.jp)の各ページ下部にある各担当課への「お問い合わせ」フォームをご利用いただいた問い合わせに対しては、担当課から直接回答させていただきます。広報課☎(32)8357